

第9回日本フットケア学会 岐阜秋季セミナー

2012年9月22日(土)



会場／じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)

会長／半田 宣弘(国立病院機構長良医療センター心臓血管外科)

《濃尾Peripheral Intervention研究会と共同開催》

共催：先端医療振興財団

後援：岐阜県、岐阜市、国立病院機構東海北陸ブロック、

岐阜県糖尿病推進協議会、日本糖尿病協会、岐阜県医師会、岐阜市医師会、岐阜新聞・岐阜放送

『フットケアのための足の解剖とケアの実際』 上村 哲司 先生

『糖尿病性足潰瘍の病態と治療(神戸分類)』 寺師 浩人先生

『フットケアと血管再生』 川本 篤彦 先生

『マゴット治療の実際』 高瀬 仁志 先生

『足病変の診断とフットケアの実際』 鈴木 英司 先生

パネルディスカッション「フットケア最前線」

血管診療技師のためのプログラム：CVTサミット

フットケア学会による：フットケア実践教室

理学療法士プログラム：ガイドライン2011 に沿って

第9回日本フットケア学会岐阜秋季セミナー運営事務局

㈱日本旅行 中部営業本部MICE営業部 太田・長谷川

電話 052-232-6740 FAX052-232-6711 e-mail: footcare-gifu@nta.co.jp

参加費事前申し込み：医師8000円、コ・メディカル6000円

事前登録申し込み：URL: <https://apollon.nta.co.jp/footcare-gifu9/>

特別講演

『米国のNurse practitionerの現状』

演者 エクランド源 雅子 先生

教育講演

『日本における特定看護師の養成と制度化の

動向と課題』

演者 草間 朋子 先生

ランチオンセミナー

- 1: 『透析・糖尿病患者における末梢動脈疾患～早期発見と治療戦略』 演者: 小林 修三先生
- 2: 『末梢動脈疾患を有する循環器疾患患者のリスク』～
Legs for Life～ 演者: 横井宏佳先生
- 3: 『静脈・リンパ管疾患の最前線』 演者: 岩田博英先生

CVTサミット開催に当たって

プログラムディレクター: 松尾汎先生、宮田哲郎先生

【脈管疾患への関心】人口の高齢化と生活様式の変化に伴う動脈硬化性疾患および静脈疾患の増加は血管疾患への無(低)侵襲診断と治療への関心を高めてきた。血管疾患診療を担うVascular laboratory(血管検査室: Vascular Lab)は初診から確診・治療に至る経過を有効・迅速に機能させる「システム」であり、大病院では院内システムの構築、クリニックなどでは地域内での連携システムとして機能する。

【脈管専門医と血管診療技師(CVT)の役割】Vascular Labを機能させる上で「血管診療技師」(Clinical vascular technologist: CVT)の育成が必要であり、2005年10月に設立された血管診療技師認定機構が認定したCVT563名が全国で活躍している。しかし、CVTが血管診療をより上質なものにして、健康長寿をめざす社会に、より貢献するために担うべき役割は何であろうか? その制度のあり方、内容、教育体制、標準化などについて、今回は特に「フットケアにおける 役割」に関して今後の方向性を模索したい。

プログラムディレクター：家城恭彦
(A班)足のアセスメント
班長：高山かおる先生

(B班)爪のケア(角質のコントロール)
班長 加納智美先生

事前申し込みが必要です！

URL: <https://apollon.nta.co.jp/footcare-gifu/>

理学療法士ガイドライン2011 に沿って：

『末梢循環障害(足病変)の包括的理学療法』

～評価と運動、そして靴の選択と義足訓練まで～

プログラムディレクター： 陳 隆明先生、林 久恵先生

糖尿病の罹患率の増加や高齢化により、全身の動脈硬化性疾患は増加傾向にある。これに伴い、PAD（peripheral arterial disease）患者も増加している。理学療法士にとってPADの包括的な知識と実践力は、今後ますますその要求が高まるであろう。糖尿病やPADの評価と運動療法、そして糖尿病性足病変に対するケア、適した靴やインソールの選択、さらには下肢切断に至った患者に対する義足の選択と装着歩行訓練の提供など実に多岐にわたる。これらの包括ケアは義肢装具士、看護師、医師といったチーム医療においてその役割が発揮されるべきである。この企画が理学療法士の皆様の役に立てれば幸いです。

当セミナーは日糖協療養指導医取得のための講習会です。日本フットケア学会 フットケア指導師認定更新(出席10単位)、日本看護協会認定看護師更新(出席3点) 透析療法指導看護師資格ポイント(出席4点)

第7回 濃尾ペリフェラルインターベンション研究会

「治療が難しかったPAD症例」

濃尾ペリフェラルインターベンション研究会

当番世話人 長良医療センター 心臓血管外科 半田宣弘

第7回濃尾ペリフェラルインターベンション研究会を平成24年09月22日(土)JR岐阜駅前「じゅうろくプラザ」において第9回日本フットケア学会岐阜セミナーと共同開催を行いチーム医療・フットケアについて大いに議論することとしました。そして本研究会ではその原点に立ち戻り末梢血管に対して「治療が難しかったPAD症例」を持ち寄り、症例を徹底的に討論することといたしました。また血管外科とインターベンションの専門家2人をお招きし講演をいただきます。

- ◆ 日 時 : 平成24年9月22日(土曜日)14:00~17:00
- ◆ 会 場 : 岐阜じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)
Tel 058-262-0150
- ◆ 会 費 : 1,000円(医師・企業) 500円(コメディカル)
※共同開催の日本フットケアセミナー参加費支払済の方には当会にも参加頂けます。
- ◆ 特別講演 : I 関西労災病院 循環器内科 飯田 修 先生
II 九州医療センター 血管外科 小野原 俊博 先生